

「矯正装置におけるワイヤーベンディングのコツ教えます！」

井沢秀彦

昨今の矯正技工でもデジタル化が著しいスピードで進み、アライナーなどのマウスピース型の装置が多くなってきています。しかし、リテーナーや拡大床、リンガルアーチなど従来通りの装置の製作が日々の生業の 8 割を占めています。そしてその作業時間の 7 割は、ワイヤーベンディングに費やされます。ワイヤー部のクオリティーは歯科技工士の経験と知識で左右され、装置としての評価はワイヤー部で決まります。

今回は、ワイヤーベンディングに関わるプライヤー選び、設計、手順等、私が日々実践しているコツを伝えたいと思っております。